

健康が一番にや



健康増進だより

◎日高町役場健康増進課
TEL 01456-2-6571
◎日高総合支所地域住民課
TEL 01457-6-3173

つい、うっかりでは無い 「子どもの事故」

年度末、何かと忙しくせわしない時期ですね。

小さいお子さんをお持ちの方は、忙しいとついついお子さんから目を離しがちになりやすく、事故が起きやすいものです。

今月は「子どもの事故」に注目してお伝えしていきます。

「子どもの死因の上位は不慮の事故」

平成27年度に死亡した子どもの内、不慮の事故で亡くなった人の数を調べると、0歳では79人、1〜4歳では108人で、それぞれ死因の第5位と第2位でした。また、死亡には至らなかつた12歳以下の子どもの事故では年間約4千5百件発生しており、事故情報として消費者庁と国民生活センターに届いています。

「発達に応じて事故が変わる」

子どもの事故は年齢や発達の程度により起こりやすい事故が異なります。そのため、それぞれの年齢や月齢に

応じた特徴を知っておくことが大切です。



赤ちゃんは生後4ヶ月になると首がすわり、手に触れる物を握ったり舐めたり出来るようになります。また、手足をばたつかせ体をずらすことも出来るようになるのでベッドやソファから転落する事故が増えてきます。

6〜11ヶ月になると寝返りやお座り、ハイハイ、つかまり立ちが順番に出来るようになり、同時に指で物を上手につかめるようになるため、何でも口に持っていく誤飲事故が増えます。そして、1〜2歳では1人で歩けるようになり行動範囲が広がるので、転落や誤飲による窒息、やけどなどの事故が増え、事故件数が最も多くなる年齢です。



「事故の種類と対応」

事故の種類は①転落②転倒③誤飲・誤嚥④ぶつかると⑤やけど⑥挟む⑦刺す⑧溺れる⑨有毒ガスを吸うの9つに分けることが出来ますが、今回は事故の起こりやすい①転落②転倒③誤飲⑤やけどについて事例の紹介と予防方法を紹介します。

○転落

0歳ではベッドからの転落、1・2歳

は階段からの転落が最も多いです。寝返りが出来ないと思って大人用ベッドに寝かせていたら手足をばたつかせて移動し転落した。壁とベッドの隙間に挟まるように転落し窒息した。などの報告があります。子どもの成長は早く、まだ動けないと思っても気を抜かないようにしましょう。

○転倒

一人歩きが出来るようになってくる頃から転倒の事故は起こります。特に歩き始めは不安定なことが多いので、転んでテーブルに頭をぶつける事例が多く報告されています。1・2歳では「自転車」での転倒が多く、自転車の前座席に座っていて自転車ごと倒れて骨折した、などの報告もあります。つまずかないように床を整理することはもちろんですが、転んでぶつかっても良いように尖っているものは置かず、テーブルの角にはカバーをつけましょう。

○誤飲・誤嚥

タバコ用品やポタン電池を間違っで飲むことが多く、年齢が上がるにつれて医薬品が増えます。タバコや医薬品については手の届かない所に置くことが原則です。特にタバコはそのまま食べるよりも水に溶けることでニコチンの摂取量が多くなります。そのため空き缶を灰皿代わりにして誤って飲んでしまうとより危険ですので気をつけましょう。



○やけど

スープやうどんに手を入れてやけどをしてしまう事例や、最近では電気ケトルなどを倒して熱湯をかぶりやけどしてしまう



事例が多く報告されています。子どもは大人よりも皮膚が弱いので、少しの熱でも重症化する危険があります。

「こまめな見直しを」

子どもの成長は早く、昨日できなかったことでも今日できるようになっていることが少なくありません。その時その時に合わせた対策が必要となりますので、子どもの成長を考えながら対策を取りましょう。

「事故が起きてしまったら・・・」

慌てずどのような状況かを確認しましょう。救急車を呼んだほうが良いのか、様子を見て良いのか迷った場合は相談できる窓口があります。事故が起きたときの状況を「どんなことをしてどうなったか」など詳しく相談しましょう。また相談窓口はいくつかわりまますので事前に確認しておくことが大切です。

相談窓口

- #7119 救急相談ダイヤル
- #8000 小児救急電話相談事業

「中学生のピロリ菌検査・除菌支援事業」が始まります

〈中学2年生対象（平成29年度のみ3年生も対象）〉

日高町では胃がん対策の充実のため、今年4月より「中学生のピロリ菌検査・除菌支援事業」を実施します。これは、様々な胃の病気の原因とされるヘリコバクター・ピロリ菌の感染の有無を若いうちに明らかにし、そのうち陽性者に対して除菌治療することで、ピロリ菌による胃の病気の治療や予防を目指します（胃がん検診ではありません）。

対象になる方はご家族とよくご相談の上、検査・除菌治療を受けましょう。

<対象者>

日高町にお住まいの中学2年生のうち希望者（平成29年度のみ中学3年生も対象）

<事業内容>

・1次検査：尿中抗体検査（尿検査）【無料】

※学校検診で提出する尿を利用します。

※学校を通じて、検査に関する説明書と申込書兼同意書を配布します。

※尿検査の結果は、健康増進課または地域住民課からご自宅に直接郵送します。陽性だった場合は、結果通知と一緒に2次検査と除菌治療についての説明文書を同封します。

※尿検査の結果が陽性でも2次検査（尿素呼気試験検査）で陰性になる場合がありますので、2次検査を受けることをお勧めします。

・2次検査：尿素呼気試験検査【無料】

※1次検査（尿検査）が陽性だった方が対象です。

※2次検査以降は、指定病院に受診していただきます。

・除菌治療1回目：服薬【無料】

※2次検査でさらに陽性だった方が対象です。

※胃酸の分泌を抑える制酸剤と胃の中のピロリ菌を退治する抗生剤2種類、整腸剤を1週間飲みます。

その後、除菌治療が成功したか判定のために再度検査します。



<その他>

・指定された期間内であれば、1次検査・2次検査・除菌治療（除菌判定を含む）は無料で受けられます。ただし、症状により薬剤や検査等の自己負担が発生する場合があります。

・検査の結果、陰性だった場合はピロリ菌に感染している可能性が低いですが、今後、症状がある場合は早めに医療機関に相談してください。

・今年度より、40歳以上の方についても、集団検診において「ピロリ菌検査（血液抗体検査）」を実施することになりました。

詳細は広報10月号（平成29年9月末頃発行予定）にてお知らせします。胃がん検診とセットの受診をお勧めしています。

お問い合わせ 日高町役場 健康増進課 01456-2-6571
日高総合支所 地域住民課 01457-6-3173